

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご利用ください。

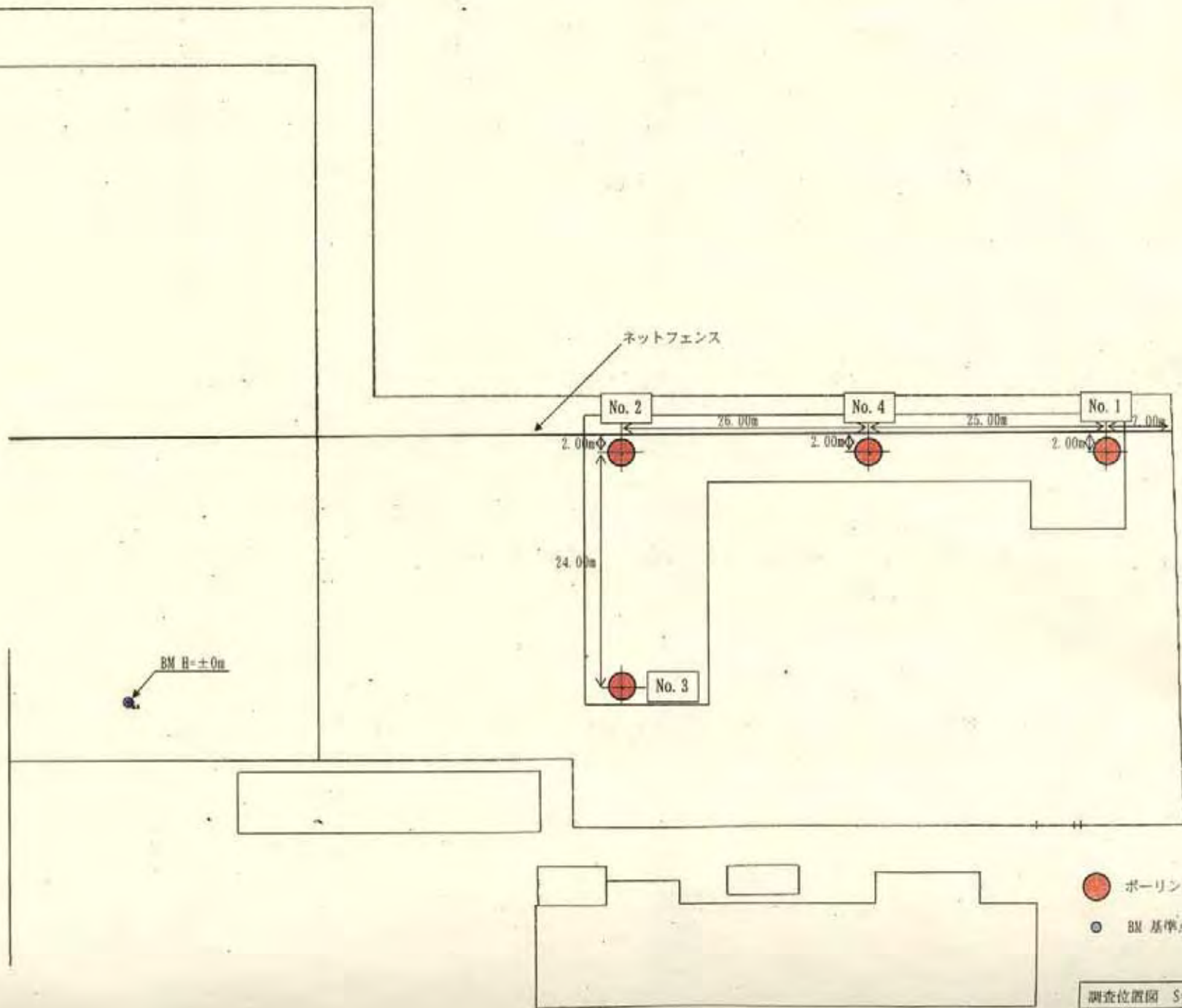
栃木県土木部建築課

1.2 調査位置図



案内図 縮尺 1:25,000

(国土地理院発行 1/2.5万地形図「大谷」「宇都宮西部」)



ボーリング柱状図

調査名 女性自立支援センター（仮称）新築工事に伴う地質調査

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	NO. 2	調査位置	栃木県宇都宮市野沢町4番地			北緯	
発注機関	株式会社 本澤建築設計事務所		調査期間	平成 20年 10月 29日 ~ 20年 10月 30日		東経	
調査業者名	主任技師		現場代理人	コ	ア	ボーリング責任者	
孔口標高	H = -0.18m	角	190°	方	北 0°	地盤勾配	使用機種
総掘進長	8.35m	度	上 90°	向	270° 西 180° 南 90° 東	鉛直 0°	エンジン
							試錐機
							YSO-1
							NFD13-E
							ハンマー落下用具
							ポンプ
							半自動落下
							SP-40

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	層深 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	備考	標準貫入試験					原位置試験	試験名および結果	採取方法	室内試験 (月日)
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10				
					盛土	増黒	中位	含水(中) 表層部は礫石より成る。以深は小礫混じり黒ボクより成る。	1.15	1/20	1	2/30					
					黒ボク	増黒	中位	含水(中) 全体に均質を呈す。	1.45	1/20	1	2/30					
					ローム	茶褐	軟らかい	含水(中) 全体に均質を呈す。下位には厚石を斑点状に混入している。	2.15	1/20	1/11	2/31					
					軽石	黄褐	軟らかい	茶水(やや大) 粒径は2~3mm程度である。粒径不均質である。厚石、黒炭混入している。	3.15	1/31	1	1/31					
					ローム	茶褐	中位	含水(中) 全体に均質を呈す。尚、若干粘性帯びている。	4.15	1	2	2	5/30				
						暗灰・暗茶灰・茶褐	密な	含水(中) 最大80mm程度の円礫所どころ点在している。φ20~50程度の円礫全体に多く混入している。GL-6.50m付近までは崩壊性大である。礫間は粗、中粒砂及び小礫で密に充填されている。尚、全体に縛まっている。	4.45	50/6		50/6					
									5.15	60/5		60/5					
									6.15	6		6					
									7.15	28	25	60					
									7.34	21	29	60					
									8.15			60					
									8.35			20					

ボーリング柱状図

調査名 女性自立支援センター（仮称）新築工事に伴う地質調査

ボーリング№

事業・工事名

シート№

ボーリング名	NO. 4	調査位置	栃木県宇都宮市野沢町4番地		北緯
発注機関	株式会社 木澤建築設計事務所	調査期間	平成 20年 10月 27日 ~ 20年 10月 28日		東経
調査業者名		主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	h=-0.255m	角	180° 上	90° 下	度
総掘進長	10.28m	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°
使用機種	試験機	YSO-1	ハンマー	落下用具	半自動落下
	エンジン	NFD13-E	ポンプ		SP-40

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験	試験採取	室内試験	掘進月日
								深 (m)	10cmごとの打撃回数	貫入量 (cm)	N値				
1			盛土	暗黒灰	中位		含水(中) 上位は再生コンクリート片及び砕石を主体とし若干の腐食土を混入している。	1.15	1/40	1/40					
2	-2.16	1.90	1.90	黒ボク	暗黒	軟らかい	含水(やや大) 軟らかく若干の腐食土を混入している。全体に均質を呈す。	2.15	1/19	1/11	2/30				
3				ローム	茶灰	中位	含水(中) 全体に均質を呈す。尚、下位には厚石を斑点状に混入している。	3.15	1	1	2	5/30			
4				礫石	黄褐	軟らかい	含水(やや大) 粒径2~3mm程度である。粒径不均質である。厚石、黒灰混入している。	4.15	1/31	2	3/31				
5	-5.16	2.30	4.90	ローム	茶灰	中位	含水(中) 全体に均質を呈す。尚、若干粘性帯びている。	5.15	1	1	2	5/30			
6	-5.96	0.80	5.70	砂	黄褐	中位	含水(中) 最大70mm程度の円礫点存在する。φ20~40mm程度の円礫全体に多く混入している。G1~9.0m付近では一時的に透水する。又、粗粒砂多く混入している。	6.15	33	17	7	50/17			
7	-6.76	0.80	6.50	砂	黄褐	中位	含水(中) 最大70mm程度の円礫点存在する。φ20~40mm程度の円礫全体に多く混入している。G1~9.0m付近では一時的に透水する。又、粗粒砂多く混入している。	7.15	19	13	18	50/29			
8				砂	黄褐	中位	含水(中) 最大70mm程度の円礫点存在する。φ20~40mm程度の円礫全体に多く混入している。G1~9.0m付近では一時的に透水する。又、粗粒砂多く混入している。	8.15	50	8	50	8			
9				砂	黄褐	中位	含水(中) 最大70mm程度の円礫点存在する。φ20~40mm程度の円礫全体に多く混入している。G1~9.0m付近では一時的に透水する。又、粗粒砂多く混入している。	9.15	42	8	50	12			
10	-10.54	3.78	10.28	砂	黄褐	中位	含水(中) 最大70mm程度の円礫点存在する。φ20~40mm程度の円礫全体に多く混入している。G1~9.0m付近では一時的に透水する。又、粗粒砂多く混入している。	10.15							